

# 新町の更なる発展を願って



横芝町議会議長  
八角健一

閉町にあたり、議会を代表いたしましてご挨拶を申し上げます。  
日頃、町民の皆様には議会活動を対し深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

一昨年より最優先課題として取り組んでまいりました光町との合併は、関係各位のご尽力により、事務事業の調整をはじめ準備作業も無事進捗し、今月の27日には新町「横芝光町」が誕生します。これにより、伝統ある我が横芝町は、半世紀余りに亘る長い歴史に幕を閉じようとしています。町民の一人として一抹の寂しさを感じるところであります。

悠久の流れの栗山川は、古くは上総と下総の国境であり、その後山武と匝瑳の行政境として今日に至っております。今日まで別々の道を行ってきた両町が、この栗山川を中心として一つの町となることはまさに画期的であります。

地域間の交流や、今まで遅れがちであった橋を中心とした道路網や漁港等の整備についても、今後は一体的な事業展開が図られ、町民融和や経済発展に大きな前進があるものと思われれます。

こうした状況を踏まえ、私ども議会はお互いの力を合わせ新町の将来像であります「栗山川がはぐくむ 人・自然・文化が共生するまいる所存でございますので、皆様のなお一層のご支援をお願い申し上げます。

結びに、新町の更なる発展と、町民皆様のご健勝ご多幸を祈念いたします。ご挨拶といたします。



# 「広報よこしば」最終号発刊に寄せて



長役員編集長  
横芝町助  
川島英夫

長い間「広報よこしば」をご愛読頂きました。誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

皆様方もご承知の通り、横芝町は来たる3月27日に隣の光町と合併致しまして、その発展の歴史に幕を引く事になります。これに伴い「広報よこしば」も最終号を迎える事になりました。

「広報よこしば」は、現在の横芝町誕生から間もない昭和36年11月5日に第1号が発行され、以来最終号となる今回の498号まで、44年間に亘り行政広報紙として、行政関係情報を中心に貴重な情報の提供に努めて参りました。

第1号に目を通しますと、まず、名称は「広報よこしば」で現在と同じですが、第3号からは「広報横芝」に変わっており、発行も、第2号は昭和37年1月10日付けですが、第3号は3月10日付けとなっており、当初は、現在のように毎月1回ではなく、2ヶ月に1回の割合であったようです。また、行政広報ですので、紙面の構成は最近のものあまり変わりませんが、大きさも一回り小さいというページ数も少なく、勿論印刷も今の様なカラー刷りではなく白黒で、簡素なものでした。

第1号の紙面には、「上塚小の給食開始される。食堂も完備」、「念願の栗山川漁港来春には完成」などの文字が躍り、当時の町内の様子が、大変懐かしく思い出されます。

私たちの愛すべきふる里横芝町は、来たる3月26日を以って、合併のため誕生以来51年有余に亘る発展の歴史に幕を引くこととなります。横芝町と共に歩み、多くの住民の方々に親しまれて参りました「広報よこしば」も、横芝町と共にその歴史に終止符を打ち、3月27日からは、「広報よこしばひかり」として生まれ変わります。

そして、合併後の新たなまち「横芝光町」の行政広報紙として、街造り情報を中心として新町の行政関係情報の提供に努めて参ります。

合併のためとは言え、44年以上続いた「広報よこしば」の歴史に終止符が打たれますことは誠に限りですが、ご愛読頂き、折に触れてご意見や叱咤激励の御言葉までお寄せ下さるなど、住民の皆様方の長い間のご愛顧に對しまして、厚く御礼申し上げます。共に改めて感謝申し上げます。